令和８年度

国語

一般選抜１期

一般選抜特待生選考１期

入学試験問題

注意事項

１．試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

２．この問題冊子は、12 ページあります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気づいた場合は、
手を挙げて監督者に知らせなさい。

３．解答は、解答用紙に記入しなさい。

４．解答用紙には解答欄以外に受験番号、氏名の記入欄があるので、監督者の指示に従って
記入しなさい。

５．問題冊子の余白等は適宜利用してもよいが、どのページも切り離してはいけません。

６．試験終了後、問題冊子も回収します。

受験番号（　　）

氏　　名（　　）

国語

【設問一】　次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

I

子供たちを非科学的な人間にしないようにするには、どうすれば良いか、ということを少し考えてみよう。歳を取れば、経験を積むことで、ある程度は非科学的なものを信じない、いわゆる免疫みたいなものができてくる。それに比べて、子供や若者は「染まり」やすい。超自然的なものを信じやすい傾向がある。特に、同年の友人たちの間でこういった「神秘」の話は盛り上がりやすいし、なかには、そういう体験談をまことしやかに話して注目を集めようとする者もいる。また大人が否定すればするほど反発するというのも若者の①**トクチョウ**である。だから、1そうならないうちに、もっと小さいときから、「科学」の基本的な姿勢を、大人の責任としてしっかりと教える必要があるだろう。

たとえば、親は「神様」「ご先祖様」などと軽々しく口にしない方が良い。子供を脅かそうと、真剣な顔で言わないことだ。大人は、自分ではその＊1「眉唾」加減を知っているけれど、言葉や態度だけを見ている子供は、それを信じてしまうかもしれない。そういう言葉が出たときには、きちんと説明をする必要がある。お墓参りをするとき、「ここに死んだ人がいるわけではない。死んだ人は生きている人が思い出すだけのもので、このお墓は、それを思い出すためにあるのだよ」と説明すれば良い。

「悪いことをすると、バチが当たるよ」という言葉は、子供にいうことをきかせるための手っ取り早い方法（方便）ではあるけれど、このように責任を神様に＊2転嫁していると、神様がいないとわかったときには、なにをしても見つからなければ叱られない、と考える子になるかもしれない。親は自分が悪者になりたくないから、神様に叱ってもらおうという心理が働く。しかし、はっきりと「私が許しません」と言えば済むことであり、悪いことをすれば不利益が自分自身に訪れることを教えれば良い。その不利益は、親が子供に与えることで感じさせるしかない。それが教育である。2不利益というのは、なにかを取り上げられる、ということである。悪いことをしたから、今日はＴＶを見せてもらえない、くらいの感じか。「バチが当たりますよ」よりは、科学的であるし、これは、社会の秩序②**イジ**の仕組みを教えることにもつながるだろう。

犬だってそうだが、人間ならばなおさら、自分の利益になるよう、できるだけ得をするように行動する。だから、科学的

であることが得になる、ということがわかれば、子供は自然に科学的になるはずだ。「お父さんは算数ができなかったけど、こんなに立派になれたよ」というように、（そんなつもりはなくても）1つい逆の指導をしてしまい、子供の才能を③**潰す**ことがあるから気をつけたい。

Ⅱ

子供の好奇心というのは、本当に大事な才能の表れだ。絶対にこれを無視してはいけない。子供の心は、好奇心として表れる。これを受け止めることでコミュニケーションが成り立つといっても良いくらいだ。

子供の質問に、大人はなかなか精確には答えられないだろう。そういうときには、いい加減なことを言わず、「わからない」「知らない」ということを正直に伝えることが大切である。そして、「わかったら、教えてね」とつけ加えれば良い。子供は、それをますます知りたくなるだろう。＊3一所懸命に考えて、大人に教えてあげよう、と思うかもしれない。「そんなこと、どうだって良い」「そんなことを知って、どうするつもりか」という態度を絶対に取らないことが重要だ。

3どうも、大人は子供に対して、「無邪気に自然の中でのびのびと走り回ってほしい」というような④**偏った**イメージを抱きすぎているのではないか、と僕は感じる。部屋の中で本を読んでいる子供に、もっと外で遊ぼう、と促す。知らず知らずのうちに、2自分の不得意なものを子供から遠ざける。たとえば、ちょっとした都市にはたいてい科学館の類の施設がある。そういったところへ行くよりは、海へ魚を捕りにいく方がワイルドで望ましい、というイメージでつい⑤**キョウセイ**してしまう。父親は特に、自分が子供のときに夢中になったものを自分の子供に押しつけがちだ。

Ⅲ

ゲームは科学教育的にどうだろう?この頃は、学習的な方向性のゲームが少なくない。大人向けのものでも、頭を使って「脳の老化を防ごう」というコンセプトのゲームが流行っている。でもたいていは、単に記憶する、計算が速い、といった、いわゆるテスト感覚のものばかりだ。3テストは、どうしても「言葉」の処理になる。言葉でなくても「図形」あるいは「記号」の処理能力が要求されるだけである。こういったものでは、基本的に新しい好奇心は生まれないので、（大人によいかもしれないけど）子供の科学教育には向かない、と僕は思う。

ではどうすれば良いのか？僕たちが科学少年だった時代のように、これからの子供が科学に＊4魅了されることは、おそらく無理だろう。それはそれで良いと思う。ただ、それを完全に無視しないこと。自分たちの生活のすべてが科学の上に成り立っていることを知ることが重要だ。数字をよく認識し、法則性を見出し、そして、自分だけの判断ではなく、他者とコミュニケーションを精確に取り、その中で一つずつみんなで確かめながら、正しい情報を⑥**センタク**するという基本的な仕組みを教えなければならない。⑦**チュウショウ的**だが、それが科学教育だと思う。

人間にはいろいろなタイプがある。全員が同じことに興味を持つ4なんて状況は不自然だ。それは子供でも同じであり、むしろ子供の方が大人よりもバラエティに富んでいる。幼稚園児を大勢部屋に集めれば、それがわかるだろう。みんなで一緒に遊ぶことはない。ある子は本を読み、ある子は走り回る。ほかの子が気になる子もいれば、周りはまったく目に入らず、自分の世界に⑧**ボットウ**している子もいる。こういったところへ、「言葉」を持ち込み、全員が一緒になって行動する連帯感を育てることは、教育の一つの要素である。全員で歌をうたったり、踊ったり、劇をしたり、話し合ったり、という活動は、社会性を養うためにも、集団の統制を取るためにも⑨**フカケツ**だ。4しかし、教育のすべてがそこにあるわけではない。

子供たちの時間の半分は、自由に好きなことをさせる。さらに、それぞれの子が勝手なことをしている状況を認識させる。そういった自由と他者の尊重から科学の心が生まれる。そして科学を推進させるために必要な独創性、そして発想力というものも、やはりこの自由さから生まれるのではないか、と僕は感じる。

Ⅳ

科学は発展しすぎた、科学が環境を破壊し、人間は本当の幸せを見失っている。という⑩**シテキ**はよく聞かれるところである。しかし、この場合の「科学」とは、そのまま「社会」や「経済」と言い換えてもほぼ同じ意味であり、5単に諷刺的姿勢で、警告を発している気になっているだけの物言いである。言葉は何とでもいえる。しかし、言葉では何一つ解決しない。

科学の存在理由、科学の目標とは、人間の幸せである。したがって、もし人間を不幸にするものがあれば、それは間違った科学、つまり非科学にほかならない。そして、そうした間違いを防ぐものもまた、6正しい科学以外にないのである。

（森　博嗣著『科学的とはどういう意味か』幻冬舎新書より）

問一　傍線部①～⑩のカタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで答えなさい。

問二　二重傍線部＊1～＊4の語句の本文中での意味として最も適当なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

＊1「眉唾加減」　…　ア　いかがわしさの程度が高いこと。
イ　信頼性の程度が高いこと。
ウ　疑わしさの程度が低いこと。
エ　社会的評価の程度が低いこと。

＊2「転嫁している」…　ア　その責任を全て自分で負う。
イ　その責任の所在を曖昧にする。
ウ　その責任を他になすりつける。
エ　その責任の原因を消してしまう。

＊3「一所懸命」　…　ア　生涯を通じて努力を怠らないこと。
イ　わき目もふらず物事をやり遂げること。
ウ　自分の命にかけて何かを守り抜くこと。
エ　一つのことに真剣に取り組むこと。

＊4「魅了される」　…　ア　心を惑わされてとりこにさせてしまう。
イ　心を惹きつけられて夢中にさせてしまう。
ウ　心を奪われて後戻りできなくさせてしまう。
エ　心を満たされて周囲を見えなくさせてしまう。

問三　波線部1「そうならない」の「ない」と同じ用法のものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　何もないのが一番良い。
イ　お茶でも飲まないか。
ウ　それはないでしょう。
エ　それはできない相談だ。

問四　波線部2「不利益というのは」の「の」と同じ用法のものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　来るのが遅すぎたようだ。
イ　桜の咲く頃にやって来た。
ウ　宝石のような輝きを放つ。
エ　それは私の問題ではない。

問五　波線部3「どうも」という副詞は後のどの文節に係りますか。十字以内で抜き出して答えなさい。

問六　波線部4「なんて」というくだけた表現を、正しい言葉遣い（五字以内）に直しなさい。

問七　本文の段落の各冒頭 Ⅰ 〜 Ⅳ には、それぞれ「小見出し」が入ります。どれを入れるのが適当でしょうか。次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。（どれにも当てはまらないものが一つだけ含まれています。）

ア　円滑なコミュニケーション
イ　子供に対しての注意点
ウ　自由さが科学を育む
エ　好奇心を潰さないように
オ　人間の幸福のために

問八　傍線部1「逆の指導」とはこの場合どういうことですか。その説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　立派な人になるには算数は不要であるということを、子供にきちんと教えるということ。
イ　立派な人になるには算数より科学であるということを、子供に間接的に教えるということ。
ウ　算数と人としての立派さは深いつながりがあるということを、子供に暗に教えるということ。
エ　算数ができればもっと立派になれるということを、子供にそれとなく教えるということ。
オ　算数ができなくても一向に構わないということを、子供に教えてしまっているということ。

問九　傍線部２「自分の不得意なもの」とはこの場合どういうものですか。その説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　部屋で本を読んだり、自然の中で走り回ったりすること。
イ　部屋で本を読んだり、街の科学館へ行ったりすること。
ウ　部屋で本を読んだり、海へ魚を捕りに行ったりすること。
エ　街の科学館へ行ったり、自然の中で走り回ったりすること。
オ　街の科学館へ行ったり、海へ魚を捕りに行ったりすること。

問十　傍線部３とはどういうことですか。その説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　テストの言葉や図形の問題は大人向けのものであっても学習を意図したものだから、子供の好奇心を育てる目的には向いていないということ。
イ　テストの言葉や図形の問題は記憶の精確さや処理能力の速さを問うものだから、本来あるべき科学教育にはあまりなじまないということ。
ウ　テストの言葉や図形の問題はもともとがゲーム感覚を基本にしているから、科学教育のための教材としてはあまりふさわしくないということ。
エ　テストの言葉や図形の問題は学習をねらいとしたものが主流ではあるが、子供は普段遊ぶゲームのようには関心を持ちにくいということ。
オ　テストの言葉や図形の問題は子供向けでも大人向けでも頭を使わせる目的で作られているので、ゲーム感覚でやるには違和感があるということ。

問十一　傍線部４について、

ⅰ　「そこ」の指示する内容を、十字以内で抜き出して答えなさい。（複数箇所考えられる場合には、最初に出てきた語句を答えるようにしなさい）

ⅱ　そのように言うのはなぜですか。その理由を説明した場合、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　人間には様々なタイプがあるという認識が大切だが、教育により社会性を身につけさせることも大切だから。

イ　人間には様々なタイプがあるという認識が大切であり、個々にのびのびと自由なことをさせる時間が最も大切だから。

ウ　全員が一緒になって行動し社会性を養うことも大切だが、個々が自由に行動し発想力を身につけることも大切だから。

エ　全員が一緒になって行動し連帯感を育てることが大切であり、そこに他者を尊重する心が芽生えてくるから。

オ　全員が一緒になって行動し社会性を養うことも大切だが、個々が他者を尊重できるか否かが教育の鍵を握るから。

問十二　傍線部５の説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　言葉を変えて現在の社会問題を語っても意味はない。科学の目標が「人間の幸せ」であることは疑いのないことだから、科学で解決する以外考えられない。

イ　言葉を変えて現在の社会問題を語っても意味はない。科学に不可能はないことは明らかなことだから、様々な問題の解決は科学に任せる以外考えられない。

ウ　言葉を変えて現在の社会問題を解決しようとしても意味はない。何が間違っているかという根本は既に解っている以上、科学で証明する以外考えられない。

エ　言葉に頼って現在の社会問題を語っても意味はない。いくら科学という言葉を使っても何の解決にもならない以上、「人間の幸せ」を追求する以外考えられない。

オ　言葉に頼って現在の社会問題を語っても意味はない。科学であれ経済であれ「人間の幸せ」を追求しているのだから、学問の領域を超えること以外考えられない。

問十三　傍線部６「正しい科学」の具体例として、筆者が特に重視していることを次から二つ選び、記号で答えなさい。

ア　社会秩序のきちんとした仕組みを教える。

イ　超自然的なものは遠ざけて信じさせない。

ウ　子供の一つひとつの好奇心を潰さない。

エ　数字をよく認識し法則性を見出す。

オ　他者とのコミュニケーションを取る。

【設問二】　次の本文を読んで、後の設問に答えなさい。

この部分に掲載されている文章については、著作権の都合上、非公開

この部分に掲載されている文章については、著作権の都合上、非公開

（朝日新聞２０２３年６月３０日　「耕論…『趣味は』と聞かれても」…高橋秀実さんの文章より）

問一　本文全体に渡って用いられている文章の修辞技法を何といいますか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　逆説法　　イ　帰納法　　ウ　擬人法　　エ　倒置法

問二　傍線部「できたら終わり」という意味を考えてみました。次の説明文の空欄［Ⅰ］・［Ⅱ］に適する**動詞**を本文中からそれぞれ抜き出して答えなさい。

趣味はその程度や過程を［Ⅰ］ことに意味がある。しかし、それを一旦［Ⅱ］と、趣味本来の面白さがなくなってしまうし、そうなったら趣味の域を超えてもしまうということ。

問三　本文を読んで、「趣味を持つ」ということについて、あなたの考えを述べなさい。次の指示に従って、三〇〇字以上、三五〇字以内でまとめなさい。

《指示》二段で書いてください。前段は**本文を肯定的に捉えて**書きなさい。筆者のどのような考えにどうして賛成するのかを明確に書いてください。後段は本文に**反論する立場で**書きなさい。その際、反論の根拠を明確にしてください。なお、前・後段の分量は半々程度で書きなさい。段落の分け目は改行せずに、次の要領で行ってください。

…	。	▼	し	か	し	、	…		

【注意】　書き始めは、第一マスからとします。
行の最初に句読点がくる場合は、前の行の一番下のマス外に打ちなさい。
三〇〇字に満たない場合は減点とします。

令和８年度　一般選抜１期・一般選抜特待生選考１期　国語　解答用紙　※太枠内のみ記入しなさい

受験番号（　　）　氏名（　　）

【設問一】

問一

⑥	①
⑦	②
的	
⑧	③
	す
⑨	④
	つた
⑩	⑤

問二

※1

※2

※3

※4

問三

問四

問五

問六

問七

Ⅰ

Ⅱ

Ⅲ

Ⅳ

問八

問九

問十

問十一

i

ii

問十二

問十三

・

【設問二】

問一

問二

Ⅰ

Ⅱ

問三

350　300　200　100

令和8年度　一般選抜1期・一般選抜特待生選考1期　国語　解答　※太枠内のみ記入しなさい

受験番号（　　）　氏名（　　）

【設問一】

10　1×10　問一

①	特徴
②	維持
③	つぶす
④	かたよった
⑤	強制
⑥	選択
⑦	抽象的
⑧	没頭
⑨	不可欠
⑩	指摘

16　2×4　問二

※1	ア
※2	ウ
※3	エ
※4	イ

16　2　問三

エ

2　問四

ア

2　問五

抱きすぎている（のでは）

2　問六

などという

21　3×4　問七

Ⅰ	イ
Ⅱ	エ
Ⅲ	ウ
Ⅳ	オ

3　問八

オ

3　問九

イ

3　問十

イ

16　3　問十一

i　連帯感を育てること

4　ii　ウ

5　問十二

ア

2×2　問十三

エ・オ

【設問二】

7　3　問一

ア

2×2　問二

Ⅰ	味わう
Ⅱ	究める

30　問三

私自身「趣味は？」と聞かれると戸惑ってしまう。「無趣味が一番」という筆者の意見には驚かされた。確かに「無」であれば、どんな人の趣味も肯定的に受け入れることができそうだ。無意味に他人と比較することもないだろうし、優劣を競う必要もない。そして、面接などで趣味を聞かれても、「ウソ」をつく後ろめたさも感じなくてすむかも知れない。▼しかし、趣味は本来「楽しい時を過ごす」ものだと思う。私はテニスをやっているが、公式試合と友人とのレクでは全く別物だ。試合で「楽しめ」と言われてもなかなか難しい。友人とやるときは、言われなくても楽しいと思えることが趣味なのだろう。だとすれば、楽しいと思えることが何もない人生なんて考えられない。心の持ち方次第でたくさんの趣味を持つのは悪くなさそうだ。

350　300　200　100

令和 8 年度 国語 【一般選抜 1 期・一般選抜特待生選考 1 期】 出題意図

【設問一】 評論文（科学教育・論理的思考）：基礎的国語力・論理的読解力の確認

・漢字の書き取り・読み、語彙の文脈的意味、助詞・接辞の識別、および言葉遣いの適切な訂正能力を確認する。

・文章の論理構成や文脈上の指示内容（指示語の範囲）を正確に把握する読解力を評価する。

・筆者の主張を的確に読み取る論理的思考力を測定する。

【設問二】 評論文および小論文：要約力・思考力・論理的対比表現力の確認

・文章中の修辞技法や文脈に応じた動詞の抽出力・理解度を確認する。

・前段で筆者の意見への肯定的理解、後段で反論（根拠の提示）を明確にし、論理的に表現する記述力を評価する。

令和８年度

国語

一般選抜２期

一般選抜特待生選考２期

入学試験問題

注意事項

１．試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

２．この問題冊子は、11 ページあります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気づいた場合は、
手を挙げて監督者に知らせなさい。

３．解答は、解答用紙に記入しなさい。

４．解答用紙には解答欄以外に受験番号、氏名の記入欄があるので、監督者の指示に従って
記入しなさい。

５．問題冊子の余白等は適宜利用してもよいが、どのページも切り離してはいけません。

６．試験終了後、問題冊子も回収します。

受験番号（　　）

氏　　名（　　）

国語

【設問一】　次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

「『嫁さんになれよ』だなんてカンチューハイ二本で言ってしまっていいの」
「梅雨晴れの※ちり紙交換　思い出もポケットティシュに換えてくれんか」　（俵　万智）

俵万智の『サラダ記念日』の本をはじめて手にしたとき、ページを①繰って目に飛びこんできたのは、「『嫁さんになれよ』だなんて」の歌でした。

いままであまりお目にかかったことのない、1かろやかな、乾いた歌でした。愛の告白とカンチューハイというふつうあまり結びつかない異質のものが、ここではみごとに結びついている。

アルコールが入って酔眼になりながら、それでもやや②ゴウインな告白をはじめた青年を、娘は軽く＊1あしらっている。どうせならアルコールなしでいってもらいたかったと思う。カンチューハイ二本飲んだだけでもう酔ってしまったの、醒めれば忘れちゃうんじゃない、という思いもある。カンチューハイの存在によって、この歌は生きています。求愛とショウチューという異質のものが結びついたときの面白さがそこにあります。

思い出をポケットティシュに換えてくれんか、という歌も、異質のものの結びつきの面白さですね。ほろ苦い思い出を捨てる、といえば重くなりますが、思い出をポケットティシュに換えてくれんかといえば、2それだけでぐっと軽くなります。

俵万智の数々の歌は、異質のものを結びつけることの［　I　］を教えてくれます。

散文の世界でも、私たちは、3異質のものを結びつけることで新しい次元に飛ぶことができます。Aについて書きたい。しかし、Aのことだけを書くのでは、話が③タンチョウになります。Aとはかなり異なる分野のXの話をもってきて、うまくAとXとを結びつける。うまく結びつけば、④セイコウです。

「キムタクの『目』と憲法」という見出しのついた論評が朝日新聞の文化欄にありました。（二〇〇六年五月二日・夕刊）。

憲法の存在⑤イギと、木村拓哉の世界というまったく異質のものを結びつけることにセイコウした論評の好例です。書いたのは憲法学者の田村理です。図書館にある新聞の⑥シュクサツ版でぜひお読みになってください。

公権力の不正を絶対に許さぬ「目」を自分たちのなかに育てたい、それを[1]支配される側にいる僕たちのなかに育てなければならないという主張が、この論評の主眼です。これが主題のAです。

このAを説くのに、憲法論議で＊2終始したのでは、そういってはなんですが、いささか＊3とっつきにくい。そこで、Xの登場になります。Xに反公害闘争を⑦ショウカイする方法もあるでしょう。あるいは百姓一揆の話をもちだす手もあるでしょう。

しかし、田村理は、キムタクをXにしたのです。これがよかった。[Ⅱ]があります。＊4奇をてらったわけではなく、読んでみると内容が濃い。キムタクの扮する久利生（くりう）検事は、テレビドラマ『ＨＥＲＯ』のなかで、「けっしてこぼさぬ涙をたたえた」強い怒りの目でこういいます。

「俺達みたいな仕事ってな、人の命を奪おうと思ったら簡単に奪えんだよ。あんたら警察も、俺ら検察も、そしてマスコミも、これっぽちの保身の気持ちでな、ちょっと気を緩めただけで人を簡単に殺せんだよ。俺らはそういうことを忘れちゃいけないんじゃないすか！」

久利生検事のいっているようなことは、実際にあります。

「意に反する自白、被害者が『犯人は別人』だと告げても警察のメンツで⑧歪む事実、いつのまにか無くなる物証…。これらが実際に『よくある話』だ[2]としたら?」と田村は問題を投げかけます。

だからこそ、公権力の不正を絶対に許さぬ「目」を自分たちのなかに育てなければならない。そのためには、公権力の怖さを感じとることだ。少しでも感じとることができたら、そこに憲法の存在イギがある。田村はそう主張します。同感です。

強調しておきたいのは、4自分の思いをどうすれば人びとにわかってもらえるか、そのことを軽くみてはいけないということです。そのための一つの手段として、異質のものをどうやって結びつけるかということに心を砕く。つまり、5A―X合体の術を身につける、ということです。

キムタクのテレビドラマ『ＨＥＲＯ』を見た人は少ない数ではないでしょう。ですから、「公権力の怖さ」と『ＨＥＲＯ』の内容とを結びつけることは、読み手の関心をひくだけではなく、文章に[Ⅲ]をあたえます。

⑨カブキや物語の「忠臣蔵」にもし大星由良之助（大石内蔵助）の遊興⑩三昧の場がなかったら、あれほど当たったでしょうか。忠義、団結といった直線的な主題が、大石の遊興という異質の曲線と結びついたからこそ、直線と曲線によるふくらみが生まれ、6舞台や物語に「華」が生まれたのではないでしょうか。

ここまで書いて、ふっと3芭蕉の句を思い浮かべました。

「朝露によごれて涼し瓜（うり）の泥」

「朝露」「涼し」「瓜」などの世界と「泥」の世界とは、なにやら異質の感じがするのですが、実はこの瓜のお尻のほうについている泥が登場したから4こそ、朝の瓜畑のありさまがありありと見えてくるように私は思います。「泥」がでてきたおかげで、「朝露」も「涼し」も「瓜」も、［　Ⅳ　］のあるものとして浮かび上がってくるのです。これも、異質なるものの結びつきのせいかな、と思います。

（辰濃和男著『文章のみがき方』岩波新書より）

※ちり紙交換・・・「ちり紙交換」とは、家庭で出る新聞紙や雑誌などの古紙を、ちり紙（トイレットペーパー）やティッシュペーパーなどの再生紙と交換するサービスです。昭和40年頃に広まった古紙回収の一形態で、古紙再生業者などが街を巡回していました。

問一　傍線部①～⑩のカタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで答えなさい。

問二　二重傍線部＊1～＊4の語句の本文中での意味として最も適当なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

＊1「あしらっている」…　ア　気づかないふりをする。
イ　非難してとがめている。
ウ　聞こえないふりをする。
エ　適当に受け流している。

＊2「終始した」　…　ア　最初から最後まで同じ調子を通す。
イ　最初と最後が微妙に違っている。
ウ　最初は抑え気味に最後を盛り上げる。
エ　最初を踏まえながら最後でまとめる。

＊3「とっつきにくい」…　ア　近寄りがたく目を背けたくなる。
イ　風変わりなため後ずさりしてしまう。
ウ　手をつけるのにためらってしまう。
エ　やろうとしても違和感を覚える。

＊4「奇をてらった」　…　ア　反論を許さない完璧さをねらう。
イ　あえて一風変わった手をつかう。
ウ　誰も思いつかない策を講じる。
エ　無理やり理解できないことをやる。

問三　本文の空欄 I 〜 IV に適する言葉を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。（一つだけ関係のない言葉が混ざっています。）

ア　活気
イ　現実性
ウ　意外性
エ　楽しさ
オ　面白さ

問四　波線部1「支配される」の「れる」と同じ意味用法のものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　簡単に作れるところが売りの商品だ。
イ　国王が使われる食器を準備する。
ウ　父親から叱られる日々が続いた。
エ　まるで昨日のことのように思われる。

問五　波線部2「としたら？」の後にはどんな表現を補えばいいですか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　耐えられないことだ。
イ　笑うに笑えない話だ。
ウ　茫然自失の状態だ。
エ　背筋も凍る思いだ。

問六　波線部3「松尾芭蕉」と同じ江戸時代に活躍した俳人の組み合わせとして正しいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　与謝蕪村・本居宣長
イ　与謝蕪村・小林一茶
ウ　藤原定家・小林一茶
エ　藤原定家・本居宣長

問七　波線部4「こそ」は後のどの語句に係りますか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　ありさまが
イ　ありありと
ウ　見えてくる
エ　私は思います

問八　傍線部1の説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　表現に歯切れの良さが感じられ、会話体を駆使しながらさらりと流した印象を与える歌。
イ　表現に一定のリズムが感じられ、漢字をあまり用いないことで軽快な印象を与える歌。
ウ　表現にくだけたイメージが感じられ、カタカナ語表記による若々しさを印象づける歌。
エ　表現に軽やかさが感じられ、繰り返し韻を踏むことで二人の親密さを印象づけようとする歌。
オ　表現に会話の楽しさが感じられ、特に「いいの」という終わり方が謎めいた印象を与える歌。

問九　傍線部２「軽くなる」の説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　失恋という重くて辛い思い出を、瞬間的に忘れさせる効果が生じる。
イ　失恋という重くて辛い出来事を、永遠に封印してしまう効果が生じる。
ウ　失恋という重くて辛い事実を、自戒にしようという効果が生じる。
エ　失恋という重くて辛い思い出を、少しだけ和らげる効果が生じる。
オ　失恋という重くて辛い現実を、見えないようにさせる効果が生じる。

問十　傍線部３「新しい次元に飛ぶ」とはどういうことですか。その具体的説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　読者に読みたいという興味を持たせ、さらに説得力も増した文章になるということ。
イ　読者に新たな興味を抱かせ、同時に作者の成長もうかがえる文章になるということ。
ウ　読者に読もうという動機を与え、さらに社会的にも影響を与える文章になるということ。
エ　読者に読書の魅力を伝え、同時に読者の人生観まで変えてしまう文章になるということ。
オ　読者に新しい視点を提供し、さらにその視点を見つめ直させる文章になるということ。

問十一　傍線部４のように言う理由を説明した場合、最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　自分の考えはそう簡単には深まらないもので、深めるためには日々文章を書き続ける地道な修行が欠かせないと考えているから。

イ　自分の考えはそう簡単には人には伝わらないもので、分かってもらうためにはそれ相応の文章をみがく修行が必要だと考えているから。

ウ　自分のやり方は誰しも身についているものだが、他者からの適切な文章に関する指導や助言があればさらに上達するはずだと考えているから。

エ　自分の考えは簡単には人には伝わらないものだが、様々な文章が書けるようになると次第に理解してくれる人も増えると考えているから。

オ　自分のやり方は誰しも変えにくいもので、文章の欠点などを人から指摘されたりすると意固地になりかえって反発を招くと考えているから。

問十二　傍線部５を言い換えた比喩的な表現を、最終段落（「カブキや物語の」で始まる段落）から抜き出して答えなさい。十二字前後の表現とします。

問十三　傍線部６とはどういうことですか。その説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア　作品に変化が生まれ、観客や読者を興奮させたということ。

イ　作品に思想性が生まれ、観客や読者を感激させたということ。

ウ　作品にゆとりが生まれ、観客や読者を退屈させなかったということ。

エ　作品に新たな主題が生まれ、観客や読者の層を広げたということ。

オ　作品に深い奥行きが生まれ、観客や読者を魅了したということ。

問十四　本文の構成と表現の特徴をまとめた場合、適当なものをそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア　誰でも知っている四つの具体例を年代順に並べることで、歴史も分かる工夫をしている。

イ　分かりやすい四つの具体例を同列に並べることで、持論に幅を持たせる工夫をしている。

ウ　身近な四つの具体例を易から難の順に並べることで、読みやすいように工夫をしている。

エ　平易な言葉遣いを基調としていて、比喩を中心とした修辞法を駆使している。

オ　平易な言葉遣いを基調としていて、分かりやすい砕けた表現を多用している。

カ　平易な言葉遣いを基調としていて、一文一文も比較的短く簡潔な表現である。

【設問二】　次の本文を読んで、後の設問に答えなさい。

参院選のさなかにあふれた「日本人ファースト」という言葉に違和感を覚えました。「日本人」を強調したいのなら、「日本人第一」では、と。私のような外国にもルーツのある人たちに居心地の悪さを強いる言葉の重さに比べ、発信する側の軽さを感じました。

私の父はドイツ人、母は日本人ですが、ドイツでは極右政党「ドイツのための選択肢（ＡｆＤ）」が勢いを増しています。排外主義の動きは先進国で広く見られ、移民や難民流入の不満など様々な要因が指摘されています。しかし、難民の受け入れ数なども桁違いに少ない日本でなぜ、排外的な動きが起こるのか、よくわかりません。日本はずっと日本国内においては「日本人ファースト」だったのではないでしょうか。

日本の国籍法は、外国の国籍を取得すると日本の国籍を失う、としています。明治時代に定められ、今も１１条１項として残っています。これは研究者など海外で仕事をする日本人や、国際結婚などにより外国に住む日本人にとって理不尽な規定です。

日本の社会は、人を「見た目」で「日本人」と「外国人」に分類しがちです。数年前に口座を作ろうと地元の信用金庫を訪ねた時のこと。日本のパスポートや印鑑を窓口で示し、手続きをしたのですが、窓口の職員は「地元にもっと近い信用金庫があるのでは」とライバル店の名を挙げ、口座を開設しようとしません。口座は作れたものの時間がかかったのは、私の見た目が「外国人ふうの顔」だったからかもしれません。

「踏み絵」を迫られることもしばしば。「あなたのアイデンティティーは」と尋ねてきた人に、「自分は日本人で同時にドイツ人」と答えてけげんな顔をされました。アイデンティティーは一つでどちらかを選ぶべきでは、と言いたげでした。

ＳＮＳに「外国人出ていけ」といった投稿をする人がいます。外国人との接点があるのでしょうか。どんな暮らしを送っているか知っているのでしょうか。よく知らず、自分の境遇への不満のはけ口として攻撃をしてはいないでしょうか。ヘイトを生む土壌には「無知」があります。

どんな属性だとかレッテルを貼るのではなく、相手を人として理解しようとする心が大切です。理解し、対話ができ

れば、自分も、相手も生きやすい。だれかを排除するのではなく、包摂する社会を作る努力がいま求められています。

（朝日新聞２０２５年９月４日　耕論「ずっと日本人ファースト」サンドラ・ヘフェリンさんの投稿より）

問一　本文の問題提起部分を次のようにまとめてみました。［ノート］の空欄［Ⅰ］～［Ⅲ］に入る言葉や語句を、本文中から抜き出して完成させなさい。（Ⅰ・Ⅱは五字以内、Ⅲは八字以内の語句とします。）

［ノート］　現在、日本のみならず世界の先進国のなかでは、［Ⅰ］の動きが顕著になりつつある。とりわけ日本人は［Ⅱ］で人を分類しがちで、［Ⅲ］が少ないことで生まれる無知が差別意識の原因となっているようだ。

問二　傍線部について。本文を参考にしながら、次の要領で三〇〇字以上、三五〇字以内であなたの考えを述べなさい。

《一段》　「排除」はなぜ生じるのか。
《二段》　「包摂する社会」とはどういう社会なのか。
《三段》　「包摂する社会」の実現にはどのような努力が必要なのか。

＊一段・二段で半分、三段で半分程度の字数を目安に書いてください。

【注意】　書き始めは、第一マスからとします。
行の最初に句読点がくる場合は、前のマスの外に打ちなさい。
改行する場合は、句点（。）直後のマスに▼を入れなさい。
三〇〇字に満たない場合は減点とします。

令和８年度　一般選抜２期・一般選抜特待生選考２期　国語　解答用紙　※太枠内のみ記入しなさい

受験番号（　　）　氏名（　　）

【設問一】

問一

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

って　む

問二

※1	※2	※3	※4

問三

I

II

III

IV

問四

問五

問六

問七

問八

問九

問十

問十一

問十二

問十三

問十四

構成

表現

【設問二】

問一

I

II

III

問二

350　300　200　100

令和8年度　一般選抜2期・一般選抜特待生選考2期　国語　解答　※太枠内のみ記入しなさい

受験番号（　　　　）　氏名（　　　　）

【設問一】

配点	10	16		24					14		

問一（1×10）

①	くって
②	強引
③	単調
④	成功
⑤	意義
⑥	縮刷
⑦	紹介
⑧	ゆがむ
⑨	歌舞伎
⑩	ざんまい

問二（2×4）

※1	エ
※2	ア
※3	ウ
※4	イ

問三（2×4）

Ⅰ	オ
Ⅱ	ウ
Ⅲ	ア
Ⅳ	イ

問四（2）　ウ

問五（2）　エ

問六（2）　イ

問七（2）　ウ

問八（4）　ア

問九（4）　エ

問十（4）　ア

問十一（4）　イ

問十二（4）　直線と曲線によるふくらみ

問十三（4）　オ

問十四（3×2）

構成	イ
表現	カ

【設問二】

配点	6	30

問一（2×3）

Ⅰ	排外主義
Ⅱ	見た目
Ⅲ	外国人との接点

問二

筆者が指摘するように、見た目で差別するのではないか日本社会は閉鎖的であり、内の仲間と外の人々を区別する。外の人が外国人である場合は排除の意識が生まれ易い。▼現在、多様化の時代と言われる。「包摂する社会」とは、多様性を認め合える社会。さらには、多様であることを楽しめる社会。違つた人・物・文化を受け入れる心の余裕が必要だ。しかし、現実は程遠い。▼排除は基本的に心の問題なのではないか。心、つまり意識の持ち方を一人ひとり点検したい。誰にも個としての尊厳がある。排除とは人権意識の欠如に他ならない。一人の人間として向き合うことが大切なのではなかろうか。その上で、多様性を楽しめること。料理でもたくさん種類があつた方が豊かだし、洋服を選ぶときでもたくさんある中で決める方が満足感が得られる。

令和 8 年度 国語 【一般選抜 2 期・一般選抜特待生選考 2 期】 出題意図

【設問一】 評論文：語彙力・文法知識・文章構成把握力の確認

・漢字の読み書き、慣用句・語彙の意味理解、文法、および文学史に関する基礎知識を確認する。

・意外性・面白さ・現実性等や文章の構成・特徴、表現の意図を正確に読み取る分析力を評価する。

【設問二】 評論文および小論文：情報整理力・課題探求力・論理的構成力の確認

・現代社会における排外意識や識別の要因に関する記述から、必要な情報を正しく抽出する要約力・整理力を確認する。

・指示された字数分配と段落構成に従い、自らの考えを客観的かつ論理的に構築・記述する総合力を評価する。